

「親孝行の授業」

私が考える教育の究極の目的は「親に感謝、親を大切にする」です。
高校生の多くはいままで自分一人の力で生きてきたように思っている。
親が苦勞して育ててくれたことを知らないんです。

これは天草東高時代から継続して行ったことですが、このことを教えるのに一番ふさわしい機会として、私は卒業式の日を選びました。

式の後、三年生と保護者を全員視聴覚室に集めて、私が最後の授業をするんです。

そのためにはまず形から整えなくちゃいかんということで、後ろに立っている保護者を生徒の席に座らせ、生徒をその横に正座させる。そして全員に目を瞑らせてからこう話を切り出します。

「いままで、お父さん、お母さんにいろんなことをしてもらったり、心配をかけたりしただろう。それを思い出してみろ。交通事故に遭って入院した者もいれば、親子喧嘩をしたり、こんな飯は食えんとお母さんの弁当に文句を言った者もおる.....」

そういう話をしているうちに涙を流す者が出てきます。

「おまえたちを高校へ行かせるために、ご両親は一所懸命働いて、その金ばたくさん使いなされたぞ。そういうことを考えたことがあったか。学校の先生にお世話になりましたと言う前に、まず親に感謝しろ」そして

「心の底から親に迷惑を掛けた、苦勞を掛けたと思う者は、いま、お父さんお母さんが隣におられるから、その手ば握ってみろ」

と言うわけです。すると一人、二人と繋いでいって、最後には全員が手を繋ぐ。

私はそれを確認した上で、こう声を張り上げます。

「その手がねえ！十八年間おまえたちを育ててきた手だ。分かるか。.....親の手をね、これまで握ったことがあったか？おまえたちが生まれた頃は、柔らかい手をしておられた。いま、ゴツゴツとした手をしておられるのは、おまえたちを育てるために大変な苦勞してこられたからたい。

それを忘れるな」その上でさらに

「十八年間振り返って、親に本当にすまんかった、心から感謝すると思う者は、いま一度強く手を握れ」

と言うと、あちこちから嗚咽が聞こえてくる。私は

「よし、目を開けろ。分かったや？私が教えたかったのはここたい。親に感謝、親を大切にする授業、終わり」

と言って部屋を出ていく。振り返ると親と子が抱き合って涙を流しているんです

「母の日～父の日にむけて」

「母からのビデオテープ」

俺、小さい頃に母親を亡くしてるんだ。それで中学生の頃、恥ずかしいくらいにぐれた。親父の留守中、家に金が無いかタンスの中を探しているとビデオテープがあったんだ。俺、親父のエロビデオとかかな？なんて思って見てみた。そしたら・・・病室のベットの上にお母さんがうつってた。

『〇〇ちゃん二十歳のお誕生日おめでと。なにも買ってあげれなくてゴメンね。お母さんがいなくても、〇〇ちゃんは強い子になってるでしょうね。今頃、大学生になってるのかな？もしかして結婚してたりしてね・・・』

10分くらいのビデオテープだった。俺、泣いた、本気で泣いた。次ぎの瞬間、親父の髭剃りでパンチパーマ全部剃った。みんなにバカにされるくらい勉強した。俺が一浪だけどマーチに合格した時、親父、まるで俺が東大にでも受かったかのように泣きながら親戚に電話してた。それで、二十歳の誕生日に、案の定、親父が俺にテープを渡してきた。また、よく見てみたら。ビデオを撮ってる親父の泣き声が聞こえてた。お母さんは、笑いながら『情けないわねえ』なんて言ってるんだ。俺また泣いちゃったよ。父親も辛かったんだろうな、親父にそのこと言ったら、知らねーよなんて言ってたけど、就職決まった時、親父が『これでお母さんに怒られなくて済むよ』なんていってた。俺このビデオテープがあったからまっとうに生きられてる。お父さん、お母さん、ありがとうございます。

『親想う心にまさる親心

けふのおとずれ何ときくらん』

吉田松陰の両親宛への辞世の句です。

親のありがたさがしみじみ伝わる句です。

5月13日母の日、6月17日父の日と続く時期ですが～人生を振り返り、しっかり両親に感謝を言葉にして伝えましょう！

『ありがとう！！』

PS

私は、今まで・・・

「母の日は5月第2日曜日、父の日は6月第2日曜日」と間違えて覚えていました。実は父の日は6月第3日曜日だった！！ ガ～ン！それだけメジャーな母の日に比べて、父の日はマイナーな感じで意識が低かったのかも・・・！！ なんとなく～まァ仕方ない気がする！！

